

# あいさつ運動の好事例

上齋原学園（鏡野町立上齋原幼稚園、小学校、中学校）

（園児児童生徒数52名 教職員数15名）

## 上齋原学園あいさつ運動 ～ 幼小中の連携 ～

### アピールポイント

毎月10日、20日に生徒会生活部による『あいさつ運動』を実施。20日には『一貫教育研究会生活部（教職員）』も合流して、幼小中すべての子ども達を笑顔で迎えます。また、放課後（部活動終了後）の『さよなら運動』も、全教職員が立って見送りをしています。学園全体が、1日を通して、生徒に声かけをし、あいさつを習慣づける取組を行っています。

### 実際の様子



※「一貫教育研究会」とは、幼小中が協力して上齋原学園の園児・児童・生徒の一貫した教育を考えた研究組織のことである。

### 取組の概要

#### ■児童生徒の実態

- ・12年間、同じ仲間と生活をともにしている（クラス替えもない）ため、あいさつを省くことがある。下学年ほど「あいさつ」をしない傾向がある。

#### ■活動内容

- ・生徒会生活部を中心に、登校時のあいさつ運動（月2回）・一貫教育研究会生活部（教職員）を中心に、登校時のあいさつ運動（月1回）・中学校教職員による「さよなら」運動（毎日声かけで、生徒の様子を把握）

#### ■取組の参加メンバー

- ・教職員、生徒会が中心となって実施。

#### ■成果・効果

- ・元気の良いあいさつが増えた。あいさつ運動の取組をするようになってから、中学生のあいさつが、次第に増えてきた。
- ・生徒のその日の気分や健康状態などが、事前に把握できる。（細やかな対応が可能になる。）中学生の取組が、小学生や幼稚園児に好影響を与え、学園全体にあいさつする声が聞こえるようになってきている。
- ・現在は、元気の良い（気持ちの良い）あいさつができるようになってきた。